

## 第4回上越市自立支援協議会 次第

日時：平成26年7月10日（木）10：30～

会場：福祉交流プラザ2階 相談室6

1 開 会

2 協 議

（1）日中一時支援事業について

（2）意見交換

「テーマ： 障害福祉サービスについて」

3 その他

4 閉 会

# 日中一時支援事業の取り扱いについて

自立支援協議会  
平成26年7月10日

## 日中一時支援サービスの定義等

障害等の日中における活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練そのための支援を行うサービス。

## 利用対象者

日中において介護を行う人がいない障害者等。

## 費用の負担

区分	標準時間	区分1	区分2	区分の用語意義	該当事業所
型	4時間	2,830円	2,400円	放課後支援事業受託事業所	りとるらいふ
	8時間	5,250円	4,390円		
型	4時間	2,140円	1,710円	短期入所指定事業所のうち利用者に対し送迎サービスを実施している事業所	つどいの郷、かなやの里(更生園、ワークス)
	8時間	4,100円	3,240円		
型	4時間	1,870円	1,680円	短期入所指定事業所のうち、備考2に定める事業所以外の事業所	さくら工房、南さくら工房、ふれんどりミルはまなす
	8時間	3,740円	3,180円		

## 利用要件

### 障害児の場合

障害児 (18歳未満)	放課後等デイサービスの定員超過した分については、日中一時に振替える。
----------------	------------------------------------

### <参考>

特別支援学校に通う児童・・・放課後等デイサービス

普通学校(特別支援学級)に通う児童・・・放課後児童クラブ

ただし、特別支援学級の児童であっても、その時の状況によっては、放課後等デイサービスを利用することになる。

### 障害者の場合

平日	利用時間：午前9時～午後4時、午後4時～午後6時 預かり支援での使用 つどいの郷については、8時間に満たないため、日中一時支援の成人夕方支援を運用している。(午後4時～午後6時)
土日	利用時間：午前9時～午後4時 預かりと余暇支援の利用(ただし、月2日程度の利用とする。・・・当市のルール) 預かり・・・見守り、預かり 余暇・・・社会性を身につけるための目的や遊び方を知るためのスキルを身につけるための目的があれば認める。 余暇支援の新規については、サービス利用計画に詳細を記載する。なお、サービス等利用計画の対象者でない場合は、委託相談の中で、ケース会議を開き申請する。

平成26年度 自立支援協議会各部会 年間計画表

部会名	すまい部会
部会長	宮越 亮
メンバー	青木美代子 上野大誠 笠原芳隆 小林精子 川澄隆章 宮沢功 山崎結貴 山本拓郎

今年度の目的	部会内容
部会が目指すもの:重度障害者に焦点をあて、その障害者が安心して地域でくらししていくにはどうしたらいいのか施策の提言を行う。今年度の目的については、重度障害者の家族の生の声を聴き、重度障害者と言われている方の基本データを収集し、事例に学びながら、課題を抽出することとする。	部会は毎月第1金曜午前10時から 情報データ収集 事例検討 勉強会 課題抽出

計画内容						
上 期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
会議・研修等		第1回部会		第2回部会	第3回部会	第4回部会
内容・テーマ		・部会名の確定 ・年間計画の討議、決定	・重い障害を持つ子の親の声を聴く会の開催 6月27日13:30 宮沢部会員の知人の重い障害をお持ちの親御さんを5名ほどお招きして、お話を聞かせていただく。	・7月4日(金)10:00am 上越市の重度障害者の基礎データを知り。そこから見えてくるものを把握する。 担当山崎部会員	・8月1日(金)10:00am 重度障害者の住まいに関する困り感等に焦点をあてた事例に学ぶ(1) 事例提供 川澄部会員 上野部会員	・9月5日(金)10:00am 重度障害者の住まいに関する困り感等に焦点をあてた事例に学ぶ(1) 事例提供 青木部会員 宮越部会員

下 期						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議・研修等	第5回部会	第6回部会	第7回部会	第8回部会	第9回部会	第10回部会
内容・テーマ	・10月3日(金)10:00am ・課題抽出(1)	・11月7日(金)10:00am ・国土交通省の障害者のための住宅施策の勉強会 ・課題抽出(2)	・12月5日(金)10:00am ・課題抽出(3)	・開催未定	・2月6日(金)10:00am ・平成26年度まとめ	・3月6日(金)10:00am ・次年度計画立案

## 平成26年度 自立支援協議会各部会 年間計画表

部会名	精神障害者地域移行・定着支援部会
部会長	丸山ひろみ(障害者相談支援センター)
メンバー	豊真穂(高田西城病院)、井部真澄(川室記念病院)、阿部義隆(さいがた医療センター)、山田英理子(三交病院)、高橋典子(つくしセンター) 岩佐雅恵(こころ場)、山本拓郎・木村靖子・川澄隆章・山本優(障害者相談支援センター) <span style="float: right;">事務局:鷹股博子・山岸広美(福祉課)</span>

今年度の目的	部会内容
長期に精神科病院に入院されている方の地域移行・定着について、病院と相談支援事業所・行政で共有の理解を深め、1人でも多くの方が地域でその人らしく暮らすことができるよう、3者で協働していく。	事例を通じて、よりよい地域移行の進め方を模索する。 部会開催日:原則第4火曜日 午後3時45分～5時 会場:福祉交流プラザ第1会議室

	上 期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
会議・研修等		27日 部会		22日 部会		30日 部会
内容・テーマ		・部会の趣旨等について ・利用状況について ・病院と相談支援事業所・行政の連携について ・今年度の部会の予定について		<事例提供> 高橋典子 (つくしセンター)		<事例提供> 山本拓郎 (障害者相談支援センター)

	下 期					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議・研修等		25日 部会		27日 部会		24日 部会
内容・テーマ		<事例提供> 木村靖子 (障害者相談支援センター)		<事例提供> 岩佐雅恵 (夕映えの郷こころ場)		・1年のまとめ

## 平成26年度 自立支援協議会各部会 年間計画表

部会名	子ども時代の地域課題を考える会
部会長	山川 美香氏(上越市手をつなぐ育成会 理事)
メンバー	別紙 テーマに応じて関係者参集要請を検討中。

開催日程 下記に記載。原則毎月1回。福祉交流プラザ1階第4相談室で10～11時30分を予定

<p>今年度の目的</p> <p>出生後から18歳までの子ども時代に起こり得る地域課題について関係者間で問題の整理を行う。(特に今年度は小学校中学年までを中心に進める。対象の子どもは生きにくさや特性を持つ子どもと捉える。地域校の特支級在籍児も視野に入れて進めていきたい)</p> <p>保護者の障害受容、子育て、サービス利用等の課題について話し合い、地域課題として発信できるよう目指したい。(子の問題や親の問題があり、家族問題として捉える視点を持てるよう意識する)</p> <p>医療・教育・福祉等の関係者と横断的な場が持てるよう工夫し、協議する。</p>	<p>部会内容</p> <p>この上越市内にある関係機関(行政機関、委託機関、民間事業所等)の役割の整理と互いの共有を図り、市民に分かり易い情報提供の在り方やツールの協議を行ってみる。</p> <p>生きにくさや特性を持つ子どもと親が早期に支援機関に確実に繋がっていくための地域課題を考え、対応策を協議提案できるよう進める。</p> <p>生きにくさや特性を持つ子どもを育てる保護者自身に対する支援方法を協議し、支援者任せに偏重することなく、保護者自身が気づきを持てるような仕掛けとして地域に向けた講座を開催する。</p>
--	---

### 計画内容

		上 期					
開催日程		4月	5月22日	6月23日	7月25日	8月15日	9月19日
会議・研修等		/					
内容・テーマ		/	部会長を中心に自立支援協議会メンバーでの基本方針に向けた検討	今年度の活動に向けた共有化作業 意見交換			
		下 期					
開催日程		10月23日	11月27日	12月25日	1月22日	2月26日	3月26日
会議・研修等						地域に向けた講座開催	
内容・テーマ			次年度に向けての提案・報告会	活動の反省会 地域講座開催準備			地域講座反省会

## 平成26年度 自立支援協議会各部会 年間計画表

部会名 放課後の過ごしについて考える会

部会長 中屋万里子

メンバー 笠原洋紀、吉田有佳 議事録(りとるらいふ)、野口美和(障害者相談支援センター)、上松教頭(高田特支)、堀井教頭(上越特別)、小林教頭(吉川特支)、市村係長、長谷川修(学校教育課)、荻野遊 事務局(福祉課)

今年度の目的

部会内容

・子育てを家族が中心に行えるよう関係機関が連携し支えていく。・預かりが制度的に困難になっている。どの子どもも療育が必要であり、その場をどのように保障していくか上越市と一緒に考えていく。・放課後の活動保障は福祉ばかりの課題ではない。学校の部活やSSTの支援・地域での余暇活動や文化活動も生活の広がりとして考えていく。・放課後等DS利用により療育支援が本人に対して形になっていくような支援を関係機関で共有していく。

就学相談での入学後の放課後の過ごしについて、保護者が学校を決める時点で福祉等のサービス情報が提供され、日々の放課後・長期休みの過ごしが予め学校を決める際に検討されるような体制作りをしていく。・通常学級の子どもの過ごしから福祉だけでなく学校での放課後の過ごしや地域活動も検討する。・放課後等DS事業の受け皿拡大について検討する。(検討結果はそれぞれの法人に報告する)

計画内容

	上期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例会			20日(金)13:30～	18日(金)13:30～		19日(金)13:30～
内容・その他会議			・放課後等DSの状況・困りごと。・学校職員のVrや部活の検討。・学校職員の現場見学について計画。(市役所は毎月事業所に稼働率を報告として挙げてもらう)	・放課後等DSの状況・困りごと。・学校生徒の障害の多様化について。(部活・県大会の活動)	休会(事業所が夏休みで忙しい)	・放課後等DSの状況・困りごと。・夏休みの状況(放課後等DS)・学校の活動(県の競技大会に向けての活動の動き)

	下期					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会	17日(金)13:30～	21日(金)13:30～	19日(金)13:30～	16日(金)13:30～	20日(金)13:30～	
内容・その他会議	・放課後等DSの状況・困りごと。・学校生徒の障害の多様化について。・個別支援計画と障害児等支援利用計画の話し合い(事例をあげて)。・就学相談への福祉情報提供について考える。	・放課後等DSの状況・困りごと。・学校生徒の障害の多様化について。・個別支援計画と障害児等支援利用計画の話し合い(事例をあげて)。・就学相談への福祉情報提供について考える。	・放課後等DSの状況・困りごと。・イベントとして行政・学校・法人への報告活動を行う。・個別支援計画と障害児等支援利用計画の話し合い(事例をあげて)。・就学相談への福祉情報提供について考える。	・放課後等DSの状況・困りごと。・個別支援計画と障害児等支援利用計画の話し合い。・就学相談への福祉情報提供について考える。	・放課後等DSの状況・困りごと。・個別支援計画と障害児等支援利用計画の話し合い。まとめ	

## 平成26年度 自立支援協議会各部会 年間計画表

部会名 卒後の通所事業所の受皿について考える会

部会長 中屋 万里子

メンバー: 設楽なつ子・山崎晶代・青木一美・望月正・久保田稔・梅沢康宏・松原一郎・吉田有佳(議事録)・山本拓郎・荻野遊(福祉課事務局)

今年度の目的

部会内容

<p>特別支援学校卒業後の生活介護・就労継続Bの事業所が25年度の卒業生で飽和状態になっている。卒後をひかえた子供達の受皿確保が困難な状況が予測される。受皿確保を地域課題として取り組んでいく。希望する事業所に通所できない。資源の地域間格差がある。事業所内での困難なケースを受けることができる職員のスキルアップも合わせて考えていく。</p>	<p>・学校が行う保護者向けアンケートと市内事業所の稼働率の数字とのマッチング作業。                  ・生活介護・就労継続B・就労移行のサビ管が我が事業所の課題や我が地域の課題について自覚・認識していることについて共有する。                  ・我が事業所・我が地域の課題を市・法人の管理職へ情報提供し、課題について話し合い、地域課題としての具体的方策を出し、予算化へ向ける。</p>
---	---

計画内容

	上期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例会			19日(木)13:30～	17日(木)10:00～	21日(木)10:00～	18日(木)10:00～
内容・その他会議			6月30日AM 生活介護サビ管・情報共有。我が事業所・我が地域の課題について話し合う。 6月30日PM 就労継続Bサビ管情報共有。同上。(次回の日にち設定)	7月7日PM 就労移行サビ管・情報共有。我が事業所・我が地域の課題について話し合う。(次回の日にち設定)	サビ管との話し合いについてまとめる。9月の報告会の準備を行う。	各法人施設長へ生活介護・就労継続B・就労移行のサビ管が話合った内容を情報提供。課題について話し合い、地域課題の検討。(この現状についてどう考えるか)小林係長・牛木課長出席依頼。
	下期					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会	16日(木)13:30～	20日(木)10:00～	18日(木)10:00～	15日(木)10:00～	19日(木)13:30～	
内容・その他会議	各法人施設長へ生活介護・就労継続B・就労移行のサビ管が話合った内容を情報提供。課題について話し合い、地域課題の検討。(この現状についてどう考えるか)小林係長・牛木課長出席依頼。(予算化の話・中長期的な話をする)	生活介護・就労継続Bのサビ管と地域課題について情報共有を行う。(日にち設定)	就労移行サビ管・情報共有。我が事業所・我が地域の課題について話し合い情報共有を行う。(日にち設定)	各法人施設長へ生活介護・就労継続B・就労移行のサビ管が話合った内容を情報提供。課題について話し合い、地域課題の検討。(この現状についてどう考えるか)小林係長・牛木課長出席依頼。	・反省 ・次年度に向けて	

予めの作業

サビ管に宿題を市から発信。荻野氏にサビ管リスト。

学校から、どこの地域を希望しているか、Pにアンケートの中で聞いてもらう。